



## 1. CTを撮影

- 新聞などで取り上げられる手術での事故。
- これは平面的なレントゲンのみで手術を始めたら思わぬところに血管や神経があって傷つけてしまい起こります。
- 骨の形は人それぞれ異なります！
- CTを撮ることで事前に手術計画をご案内しています。

## 2. インプラント専用の部屋

- インプラント手術専用の部屋を用意。滅菌された道具のみを使用。
- 専門の教育を受けたスタッフのみで構成されたインプラント手術。

## 3. チタンインプラント光機能化

- チタンはサビない、アレルギーが無い、骨と強固に結合するという能力があるのでインプラントに使われています。
- それでも顕微鏡で確認すると骨が結合しているのはインプラント表面の30～60%ほどでしかないことが近年分かりました。
- この差はなぜ生まれるのか？
- 原因を調べると製造後新しいインプラントほど結合面積が多いことがわかりました。
- チタンはサビない・・・しかし『老化現象』とも言えるチタン独特の特徴（『チタンエイジング』）があることがわかりました。残念ながら流通の段階でチタンエイジングは起こってしまっています。
- このチタンエイジングをリセットする技術が『光機能化』です。
- 光機能化によりリセットされたインプラント表面の98%以上が骨と結合します。
- この技術により平均90%といわれているインプラント成功率や寿命、安全性が飛躍的に向上するのです。